

令和6年1月 実施

回答数:23件中19件

事業所名:キッズゆにつく学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	79%	21%		・集団に向いている広い部屋や、個別部屋があり、行う活動によって部屋を変えられるのがよいと思う。 ・土曜日など、2つに分けて活動するなど工夫している。 ・運動する場所、机上の場所とわかれていて広々使っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	95%	5%		・様々な資格を持ったスタッフがいて、色々なことを相談しあえるので心強い。 ・ヘルプが必要な時は協力し合っていてきている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	21%	42%	37%	・階段には手すりがあります。 ・階段が多い、戸建てを療育スペースとしているため改善が難しい。今後必要となった場合は検討したい。 ・階段の手すりが両方に無い。 ・階段が多くバリアフリーにはなっていない。 ・2くみ2階への階段は手すりも高く子供にとって使いにくい。手すりの設置がのぞましい。 ・各教室は安全に配慮された空間になっているが、外の階段が急など、一部配慮が難しいと感じる場所がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	95%	5%		・各組によって事務やミーティングに使える時間に差があり、クラス差はあるように感じる。 ・月1回のミーティングに加え、日々職員と連携を取り改善に努めている。 ・月1回の全体ミーティングの他に各クラス必要に応じてショートミーティングを行い、評価・反省に繋げている。 ・参加できない職員にも周知できるように回覧などを設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用することによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	95%	5%		・入職後、初めての評価アンケートのため、どちらとも答えられない。 ・評価表を集計しミーティング等での共有、ホームページの掲載を含め改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・ホームページで公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11%	26%	63%	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%		
適切な 支援の提供	⑨	担当職員により、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	95%	5%		・④と同じく、組によって差があるように感じる。 ・支援計画作成前に、児童の様子や課題について情報を共有する場を設けている。 ・保護者のニーズを受け止め、そこを軸に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、各クラス内でのアセスメントツールを使用しているか	74%	21%	5%	・病院受診されている児童には提出を求めている。事業所独自のものは無い。 ・たたいま作成中。 ・決まったフォーマットのツールはないが、クラスごとや会社全体のミーティングなどで一人一人のアセスメントの情報を共有している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	95%	5%		・外部の先生も含めて、色々な活動をチームで準備している。 ・チームで立案し社内共有している。 ・保育士、児童指導員、機能訓練士など様々な職員の意志を取り入れながら立案できている。 ・都度必要に応じた、必要な児童を考え行われている。 ・特定のスタッフに仕事量の偏りがあるように見える。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かす活動や机上の活動、外での活動など多様なプログラムがある。</li> <li>・ある程度固定化されていることが、療育的意味がある場合も多いと思う。</li> <li>・季節の行事などを取り入れたり個々の児童の能力に応じて設定している。</li> <li>・毎回固定化せず、いろいろな活動を行っている。</li> </ul>
	⑬	月ごとに、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案を作成している。</li> <li>・月案作成時には、週ごとにねらいを立て療育を行っている。</li> <li>・週単位で目標を決め、課題を行っている。</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動は特定の児童のみで行われている。</li> <li>・利用児童を見て相談、計画ができています。</li> <li>・常に子どもの状況を把握し、活動を考えている。</li> </ul>
	⑮	支援を行う時までには職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	95%	5%		
	⑯	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	89%	5%	5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEではお休みの職員などにも共有している。</li> <li>・送迎に入るスタッフも多く振り返りの時間をとることは難しい。</li> <li>・時間を作り、行うようにしている。</li> <li>・今後の支援について、しっかり話し合いをしている。</li> </ul>
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89%	11%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を明記して、どのような様子だったか書けるといいと思う。</li> <li>・定期的にクラスの記録に目を通す必要がある。</li> </ul>
	⑱	定期的にモニタリング(児童の様子を観察)を行い、放課後等デイサービスの療育の方針について見直しの必要性があるかどうかなどを相談しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者を中心に、終了、継続の検討ができています。</li> </ul>
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	89%	11%		
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	保護者や学校職員を通して、学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	95%	5%	
㉑		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	79%	21%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者間では情報を共有している。</li> <li>・必要な児童は行っている。児発からの就学がほとんどである。</li> </ul>
㉒		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修案内など事前に周知され参加できる機会がスタッフに上げられるとより良い。</li> </ul>
㉓		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16%	11%	74%	
㉔		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放デイに通う子どもたちは利用頻度が少ないため保護者との連絡、情報共有が少ない印象。</li> <li>・月1回発行している通信も併せて活用し児童の様子や課題について共有している。</li> </ul>
㉕		保護者の対応力の向上を図る観点から、面談時などに保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	74%	26%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的ではないが、その都度保護者支援を行っている。</li> <li>・ホームページに掲載があるように、ほめる事、子どもの主体性を大切にしている。スモールステップで実践している。</li> <li>・保護者の困り事や、今後の対策についてペアレントトレーニングを行っている。</li> </ul>
㉖		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
保護者への説明責任等	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談がある都度、職員で共有し支援を行っている。</li> </ul>

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	21%	68%	
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	㉓	個人情報に十分注意しているか	84%	5%	11%	・LINEでのやりとりの安全性、個人のスマホを使用している、紛失した場合、社用スマホもパスコードや鍵の設定なし。(事業所のスマホにパスコードを付けました。)
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	84%	16%		
非常時等の対応	㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	74%	26%		・保護者への周知がどのようにされているのかが分かっていないため。 ・まだ不完全だと思う。 ・緊急避難場所は周知している。 ・玄関に置いてあり、誰でも見ることができるようになっている。
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
	㉗	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	95%	5%		・新しい職員が増えてから研修を行っていない。 ・令和6年4月に新入職員5人が予定されており、その時に実施予定。
	㉘	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	95%		5%	
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・紙に残す以外にも全体LINEに送り全員で周知している。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。